



東京金山会通信 No.11

問い合わせ

東京金山会 広報担当（藤山善夫）
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

今年も早2ヵ月が経過、年を重ねるにつれて時間のたつのが早く感じるようになりました。もっと一日一日を大切に過ごさなくては…。

冬は乾燥が気になりますね。皆様、水分は足りていますか？インフルエンザが流行る冬こそ、水分補給が大切です。こまめに摂取し健康に過ごしたいものです。

金山応援団に夫婦で申し込みました。我が故郷金山町を象徴するデザインが素晴らしいですね！特典や色々な情報が満載で、私の知らないことがたくさんありました。皆様もぜひ、KANEYAMA PASSPORTをお手元に！金山は日本のどこにでもあるような小さな町ですが、そこが良いところ。皆様で盛り上げていきましょう！



【左上】手元に届いた「かねやまパスポート」【左下】関西山形県人会新年会の様子。フェイスブックで知り合った方が役員さんで新庄出身の方です。園部様とおっしゃる方は、御父様が金山町出身とお聞きしました。役員の中に金山町出身の方が3名おられて現役で活躍されているそうです。全国で金山町出身者の頑張っている姿が目に見えます。皆様のお近くの県人会をチェックしてみてください！【右上】東京金山会役員会の様子。第62回総会構想と任務分担の確認、年間行事の確認をしました（終了後は和やかに新年会）。

No.170

「森の子ども図書コーナー」

交流サロンぽすと内



100年たったら

石井睦美／文
あべ弘士／絵
アリス館

ずっとむかし、広い草原に一匹のライオンが住んでいた。この草原には他に誰もいない。草を食べたり虫を食べたりしていたが、おなかはいっぱいにならない。ある日、一羽の鳥が降り立った。鳥は「わたしをたべたらいいわ」というが、ライオンは鳥を食べない。その日からライオンと鳥は草原で暮らした。ライオンのたてがみをねぐらにしてあげた。月夜の晩、鳥はここから旅立つといたので、ライオンは泣いた。いつ会えるかと聞いたら100年たったらと鳥はいう。100年ってどのくらいだろう。その後、ライオンも鳥もちがういきものに生まれ変わっていき…。



※（ ）内作者名

数学ガールの秘密ノート（結城浩）／まち（小野寺史宜）
／1日1分寝たまま！下腹ぺたんこポーズ（波多野賢也）
／黄金雛 羽村ぼろ 蔦組零（今村翔吾）／糖質オフの満足弁当で夫婦ともに3ヵ月で10キロやせました（ゆきりち。）
／さんかく（千早茜）／大名倒産

Vol.22



山形大学の地域連携型サークル「Team道草」

道草だよりでは、彼らの町内での活動を紹介！

「金山町×大学生」で産まれる新たな可能性を模索します



④吉村知事が下野明を訪問された際の写真。皆さん笑顔でイキイキ！
⑤お話しを伺った柴田さん



3年間、31地区を取材し連載してきた道草便り。寂しいですが、今月号で最後の地区となりました。その最後は下野明地区の魅力をお伝えしたいと思います。今季はじめての大雪の日、2月6日。下野明公民館で「明日を語るお茶の会」を開いている柴田さんにお話を伺いました。「明日を語るお茶の会」とは毎月8日に地区のみならず毎月テーマをもとに話す場です。ルールは「明るく、悪口禁止」と決めています。柴田さんは「地区の人が健康でいてくれて、みんなが歩いて来ることでできる場が大事」と話されて

いて、地区内のイキイキとワクワクを守られているのだと感じました。そして、私たちが一番驚いたのは「生き方」というテーマで話し合ったことがあるということ。よそ者の私たちにあって、金山町でこんな有意義で深い場が作られていることに驚くとともに、町の見方がガラリと変わりました。吉村県知事や他団体からの視察があるなど、この場が評価されているのも納得です。日常生活で流れてしまいう考えや情報を、時間をとってみんなで話すことは私たちにもすぐ必要であると下野明地区は教えてくれました。

下野明地区「地区ってディープすぎる。」